

PFOA 関連物質に該当する化学物質に関する情報提供について

令和元年 9 月 20 日

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室
環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課化学物質審査室

1. 背景

ペルフルオロオクタン酸（以下「PFOA」という。）とその塩及び PFOA 関連物質は、平成 31 年 4 月末から令和元年 5 月初旬にかけて開催された、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（POPs 条約）第 9 回締約国会議（COP9）において条約の附属書 A（廃絶）に追加されることが決定した。これを踏まえ、当該物質群に関し、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（昭和 48 年法律第 117 号。以下「化審法」という。）に基づく措置について、令和元年 7 月 24 日開催の 3 省合同審議会¹において審議され、化審法の第一種特定化学物質に指定することが適当との結果が得られた。

このうち、PFOA 関連物質については、POPs 条約 COP9 において該当物質の網羅的な整理は困難であるとされており、化審法の第一種特定化学物質の指定は別表 1 に示す構造に合致する化学物質を指定することとされた。

しかしながら、別表 1 に示す構造から、事業者が、自らが製造、輸入又は使用する化学物質が PFOA 関連物質に該当するかの判断は容易ではないことが推測されることにより、今般、その該当性を判断するにあたっての参考となる情報として、既に得られている知見から PFOA 関連物質に該当すると考えられる物質を整理したリストを作成する。なお、本リストは、必要に応じて、今後も随時更新を行っていくこととする。

2. 基本的な考え方

以下①～②に該当する化学物質については PFOA 関連物質としてリストに掲載する。

¹ 令和元年度第 4 回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、化学物質審議会第 189 回審査部会、第 196 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

- ① スtockホルム条約に基づき設置されている残留性有機汚染物質専門委員会（POPRC）において審議された非網羅的リスト（参考資料1－9参照）に掲載されている化学物質
- ② 関係機関や諸外国（OECD²、カナダ³、スウェーデン⁴等）において既に整備されている有機フッ素化合物に関するリストに記載されている化学物質のうち、別表1の定義に該当する化学物質

上記の方針に基づき、現時点で得られている国内外の知見から見て PFOA 関連物質に該当すると考えられる化学物質を整理したリストは別表2のとおりである。なお、本リストは暫定版でありリストに記載される化学物質には変更がありうる。

また、本リストに記載されていない化学物質であっても、別表1に示す構造に該当する化学物質は第一種特定化学物質となる。このため、今後は上述の非網羅的リストが更新された場合に加え、一定期間ごとに関係機関や諸外国の状況を確認し、PFOA 関連物質に該当すると判断するに足る化学物質が見つかった場合は速やかにリストに追加する。

3. 検討スケジュール（予定）

令和元年中：パブリックコメントの実施

令和2年1月頃：リストの公表

² OECD(2018)Toward a New Comprehensive Global Database of Per- and Polyfluoroalkyl Substances(PFASs),
<http://www.oecd.org/chemicalsafety/risk-management/global-database-of-per-and-polyfluoroalkyl-substances.xlsx>

³ Non-exhaustive list of chemical abstracts service registry numbers for substances subject to the Prohibition Of Certain Toxic Substances Regulations, 2012

⁴ KEMI(2015)Occurrence and use of highly fluorinated substances and alternatives,<https://www.kemi.se/global/rapporter/2015/report-7-15-occurrence-and-use-of-highly-fluorinated-substances-and-alternatives.pdf>

(別表 1)

化学物質名	CAS番号* (参考)	化審法官報 公示整理番号*
<p>炭素原子に結合するペンタデカフルオロアルキル基（アルキル基の炭素数が7のものに限る。）を含む化合物</p> <p>ただし、以下の化合物を除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オクタデカフルオロアルカン（アルカンの炭素数が8のものに限る。）、クロロ（ヘプタデカフルオロ）アルカン（アルカンの炭素数が8のものに限る。）、ブromo（ヘプタデカフルオロ）アルカン（アルカンの炭素数が8のものに限る。） ・ ペルフルオロアルキル基（アルキル基は直鎖であり、炭素数が17を超えるものに限る。）を有する化合物 ・ ペルフルオロアルカンカルボン酸（アルカンカルボン酸の炭素数が9以上のものに限る。これらの塩、エステル、酸ハロゲン化物、無水物を含む。） ・ ペルフルオロアルキルホスホン酸（アルキルホスホン酸の炭素数が8以上のものに限る。これらの塩、エステル、酸ハロゲン化物、無水物を含む。） ・ ペルフルオロアルカンスルホン酸（アルカンスルホン酸の炭素数が9以上のものに限る。これらの塩、エステル、酸ハロゲン化物、無水物を含む。） ・ ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）とその塩、又はペルフルオロオクタンスルホニルフルオリド（PFOSF） 	<p>507-63-1</p> <p>678-39-7</p> <p>1996-88-9</p> <p>27905-45-9</p> <p>85631-54-5</p> <p>等</p>	<p>2-90</p> <p>2-2402</p> <p>2-3483</p> <p>2-3502 等</p>